

研究対象者等に通知し、又は公開すべき事項（情報公開用）

申請番号： 19-084

① 試料・情報の利用目的及び利用方法

- ・ 研究課題名： 当院における骨転移手術の有効性と安全性
- ・ 目的： 当院での骨転移手術の有効性と安全性を手術部位および術式ごとに検討し、問題点を明らかにすることである。
- ・ 研究期間： 倫理委員会承認日～2020年6月30日
- ・ 研究対象： 2008年7月1日 ～ 2019年6月30日

② 利用し、又は提供する試料・情報の項目

： 上記期間にリンパ腫と骨髄腫を含む転移性骨腫瘍に対して手術を行った症例の、以下の項目を調査します。

＜調査項目＞手術を行った時期（年月まで）、経過観察期間、手術時患者の年齢・性別、病名（原発巣・組織診断）、骨転移が単発か多発か、他臓器転移の有無、手術前後のPerformance status、補助治療（抗がん剤治療、骨修飾薬、放射線治療）の有無、手術内容（術式、手術時間、出血量、輸血量、術中合併症）、術後合併症、術後30日以内の死亡有無、再手術の有無、腫瘍学的転帰、術前・最終経過観察時の機能（疼痛の程度(NRS)、歩行能力、MSTS score、徒手筋力検査結果、可動域）、画像データ（術後レントゲン写真・CT上のインプラントの緩みや腫瘍再発の有無、骨接合部の骨癒合の有無）

③ 利用する者の範囲

： 本研究の責任者は、埼玉医科大学国際医療センター 骨軟部組織腫瘍科・整形外科 今西淳悟です。

④ 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

： 本研究の責任者は、埼玉医科大学国際医療センター 骨軟部組織腫瘍科・整形外科 今西淳悟です。